

平成20年度財団法人農学会事業報告書

1. 学術研究業績の表彰

本財団の寄付行為に定められている目的を実現する方策として設立した日本農学進歩賞は、日本の農学に従事している萌芽的な研究成果をあげた若手研究者を毎年10名程度顕彰する制度である。20年度は18機関からの推薦があり10名を表彰した。

第7回農学進歩賞授賞式及び記念講演会を平成20年11月25日（火）に実施した。

2. 農事に関する重要な事項の調査

(1) 日本技術者教育認定機構（JABEE）技術者教育プログラム（農学一般関連分野）審査事業

日本技術者教育認定機構（JABEE）の幹事学協会として5校6件の技術者教育プログラム（農学一般関連分野）の審査を実施した。

(2) 日本技術者教育認定機構（JABEE）普及指導活動

① JABEEでは平成13年度からJABEE公認の分野別審査員候補者講習会を開催することを認めているため、(財)農学会が中心となり農業工学関連分野、森林関連分野、生物工学関連分野の幹事学会である各学会と共催して審査員候補者研修会を開催した。

日 時 平成20年7月26日（土）

会 場 東京大学農学部 弥生講堂

講 師 10名

参加者 68名

②指導員派遣（実地相談）の実施

なし

3. 学術講演会の開催

学術成果を社会に還元するため公開セミナー等を財団法人農学会主催、共催、協賛で開催した。

(1) 日時 平成20年4月21日(参加者271名)

場所 弥生講堂一条ホール

タイトル 「穀物争奪戦: バイオ燃料と食料」

主催 財団法人農学会

基調講演 丸紅経済研究所 所長 柴田明夫

パネルディスカッション

コーディネーター 財団法人農学会 会長 林 良博

パネラー 丸紅経済研究所 所長 柴田明夫

農林中金総合研究所 主任研究員 ルアン ウエイ

東京大学 教授 鈴木宣弘

(2) 日時 平成 20 年 6 月 14 日(参加者 158 名)

場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

主催 東京大学農学生命科学研究科

共催 財団法人農学会

タイトル 「農学を創った人、農学が創ったもの」

「農学が生んだ国際的研究者、鈴木梅太郎博士のビタミン研究が遺した
もの」

東京大学農学生命科学研究科 教授 清水 誠

「農協の形成と発展をめぐるいくつかの学説の紹介-現在の農協問題を
理解するために」

東京大学農学生命科学研究科 准教授 万木 孝雄

パネルディスカッション

「農学を創った人、農学が創ったもの」

(3) 日時 平成 20 年 11 月 1 日(参加者 183 名)

場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

主催 東京大学農学生命科学研究科

共催 財団法人農学会

タイトル 「バイオエネルギーは地球を救うか？」

「バイオエタノール生産・利用をめぐる経済問題と国際情勢」

東京大学農学生命科学研究科 教授 鈴木宣弘

「バイオエタノール生産・利用のための原料作物の確保」

東京大学農学生命科学研究科 教授 森田茂紀

「バイオエタノール生産技術とその周辺を巡る諸問題」

東京大学農学生命科学研究科 教授 五十嵐泰夫

(4) 日時 平成 20 年 11 月 15 日(土)

場所 東京大学農学部 弥生講堂一条ホール

主催 日本農学アカデミー

共催 財団法人農学会

財団法人森とむらの会

タイトル 「農林水産業の新展開:政府に対する緊急提言」

基調講演 (財)森とむらの会 会長 古橋源太郎

総合討論 コメンテーター

東京大学農学生命科学研究科 教授 中島康博

日本農学アカデミー 副会長 會田勝美

日本農学アカデミー 理事 太田猛彦

日本農学アカデミー 理事 梶浦一郎

日本農学アカデミー 理事 山野井昭雄

4. 印刷物の刊行

(1) 第7回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集刊行

年1回、300部(51頁)

(2) 農学・農業関連分野の情報発信と情報交換を促進するため農学関連の教育研究機関(農学部関係、日本農学会所属学会など)各種農業団体等のホームページの作成、改良、運営を支援した。

5. その他目的を達成するために必要な事業

弥生講堂一条ホール内において学会等を開催する諸団体の要望及び農学会の自主的財源による事業拡大の方策として備品類(液晶プロジェクター、スライドプロジェクター、展示パネル等)の貸出業務を行った。

6. 会議開催について(理事会、評議員会)

平成20年度中に理事会、評議員会を2回開催し、主として次の事項について審議した。

(1) 平成20年度事業並びに決算について

(2) 平成21年度事業計画並びに予算について

(3) JABEE幹事学協会としての事業について

(4) 農学会の活性化について